

はじめに

社会，経済などの発展に伴い，人々を取りまく健康及び安全の阻害要因は，ますます多様化，複雑化しております。これらの解決のための研究開発は，広い視野からの総合的アプローチが必要となってきております。

昭和52年春より開始した先天性代謝異常のスクリーニングは，札幌市衛生研究所が検査を担当しておりますが，札幌市の医師会，産婦人科医会，北大医学部小児科，札幌医大小児科等関係各位の積極的な協力があり，円滑なる連携によって，札幌市出生児のほぼ全員が検査を受けております。その結果，これまでに先天性代謝異常症12例，先天性甲状腺機能低下症9例を発見するという成果をあげ，各方面より高く評価されております。

また，臨床・微生物検査部門及び環境・食品検査部門並びに大気・水質検査部門の充実強化を図り，これらに関する調査研究，試験検査など，総合的機能の充実と技術水準の高度化に努めております。

今後は，起こりうべき重要な課題に対処し，市民の要請や行政上の必要性に対応する調査研究を推進し，精度の高い試験検査を実施する施設，設備を整備し，高い技術を習得した人材の育成につとめたいと考えております。

このたび，昭和54年度札幌市衛生研究所の事業概要，調査研究業績をとりまとめ，年報第7号といたしました。

今後とも皆様方の一層のご鞭撻とご指導をお願い申し上げるとともに，この小冊子が，いささかなりとも関係者各位の方々に役立つことがあれば望外のよろこびであります。

昭和55年10月

札幌市衛生研究所長

高杉信男